

5月末よりWEB受付開始予定！

総務省 JPQR普及事業

キャッシュレス決済ならJPQRをはじめましょう

～ JPQRを導入すると、マイナポイント支払いにも対応できます！ ～

統一QR「JPQR」とは？

総務省では、JPQRを活用してマイナポイントの店舗開拓を行っています。JPQRは一般社団法人キャッシュレス推進協議会により策定されたコード決済の統一規格です。複数社ある決済QRコードを1枚のQRコードに纏める（統一化）することで、1枚のQRコード（JPQR）で複数社の決済に対応します。

※令和元年度のJPQR普及事業には、au PAY, Origami Pay, J-Coin Pay, d払い, メルペイ, ゆうちょPay, YOKA!Pay, LINE Pay等の決済事業者が参加しています。



「〇〇Pay」



〇〇Pay



〇〇Pay



複数社のQRコードを
1つのQR (JPQR)に
まとめることができます！

導入してみたいけど、
種類が多くて現場が大変…

複数あるQR決済サービスを1つのQRにまとめ、事業者様・お客様にとってスムーズな支払いを実現する国の取り組みです

JPQRのメリットは？

統一化されたQRコード（読取端末不要）

JPQR1つで複数の決済サービスの決済が可能です。店頭で設置するQRは一つにまとめ、従業員による管理や決済が簡単・スピーディになります。



集客力UP（マイナポイント活用）

QRコード決済利用者の需要取込み、及び2020年度より開始する「マイナポイント」を活用した決済への対応が可能になることから集客力UPが期待できます。
※マイナポイントの詳細は裏面参照



JPQRに関するお知らせ

総務省では、次年度よりJPQR普及事業において全国の事業者からJPQRのお申込みを受付けることを計画しています。皆様のさらなる利便性向上を目指し、全国からWEBサイト経由でお申込みが可能なWEB受付システムの構築（5月末稼働予定）と、利用できる決済サービスの拡大を目指しています。

事業の実施や具体的な申込手続きに関しては、決定次第、追って公表いたします。

JPQR（店舗提示型QRコード決済）どう使うの？

簡単3つの
ステップ！



①読み取り

利用者の専用アプリで店頭で設置されたJPQRコードを読み取ります



②金額入力

利用者はお支払い金額を入力、店員に提示の上支払いボタンを押します



③決済完了

決済完了画面を店員が確認し、決済は完了です！

キャッシュレス決済を導入するメリットは？

事業者のメリット

- マイナポイントの利用対象店舗となる
- 働き手不足対策
(レジ締、現金取り扱い時間の短縮)
- 売上現金紛失・盗難等のトラブル抑止
- 現金の搬出入回数の減少
- 従業員が紙幣・通貨に触れず衛生的
- インバウンド需要の取り込み
- 購買情報の分析や、販売促進への活用

消費者のメリット

- マイナポイント、その他クーポン利用でお得
- 現金の引き出しが不要
- 会計も早く、手ぶらで簡単に買い物が可能
(大金や小銭の不便さの解消)
- レシートデータの利活用など利便性が向上
(購買・消費履歴情報の管理が容易)
- 紛失・盗難時の被害リスクが低い
(条件次第で全額保証)

QRコード決済のメリット

安い手数料率

QRコード決済は比較的、他のキャッシュレス決済サービスよりも安い決済手数料率で導入可能です。

初期導入費不要

店頭で置いているQRコードステッカーを消費者側の端末（スマホ等）で読み取ることで決済が完了するため、店舗側に端末は原則不要です。
※店舗提示型の場合

迅速な入金

売上金は事業者様の口座に、約2週間～1ヶ月ほど、サービスによっては翌銀行営業日に入金されます。
※決済事業者により異なります

(参考) マイナポイントとは？

マイナポイントとはマイナンバーカード・マイキーIDを取得し一定額を前払い等した利用者に対して、プレミアム率25%で国が付与するポイントです。対象となるキャッシュレス決済サービスは順次拡大する予定です。

